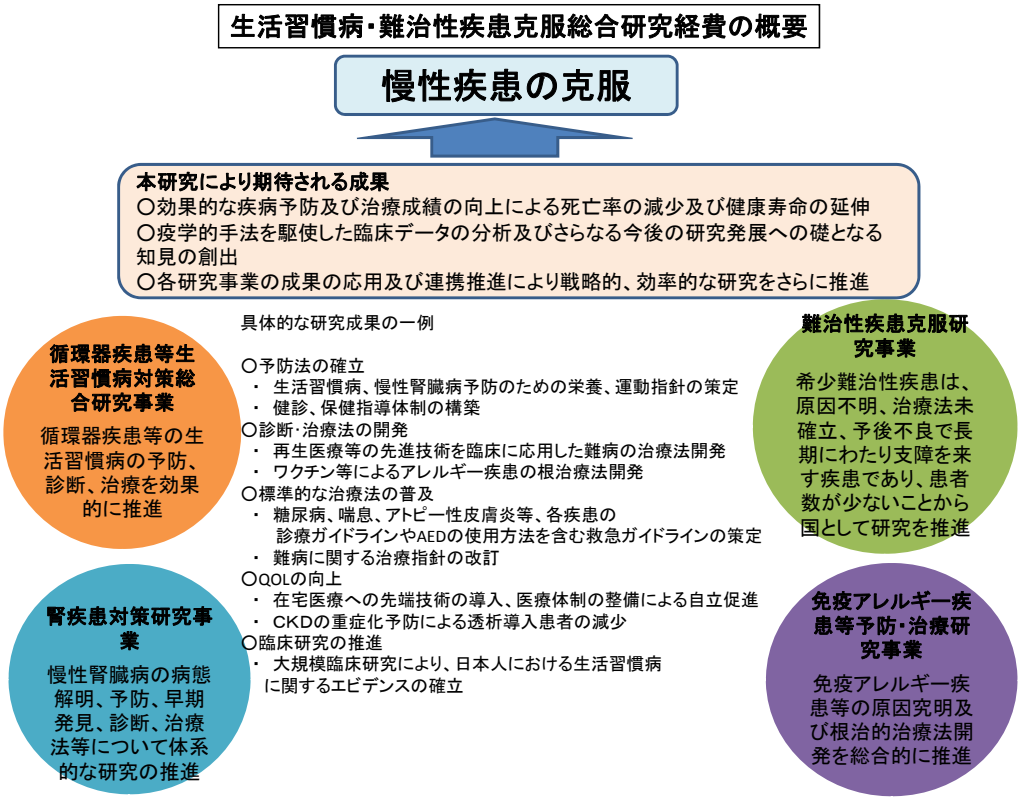
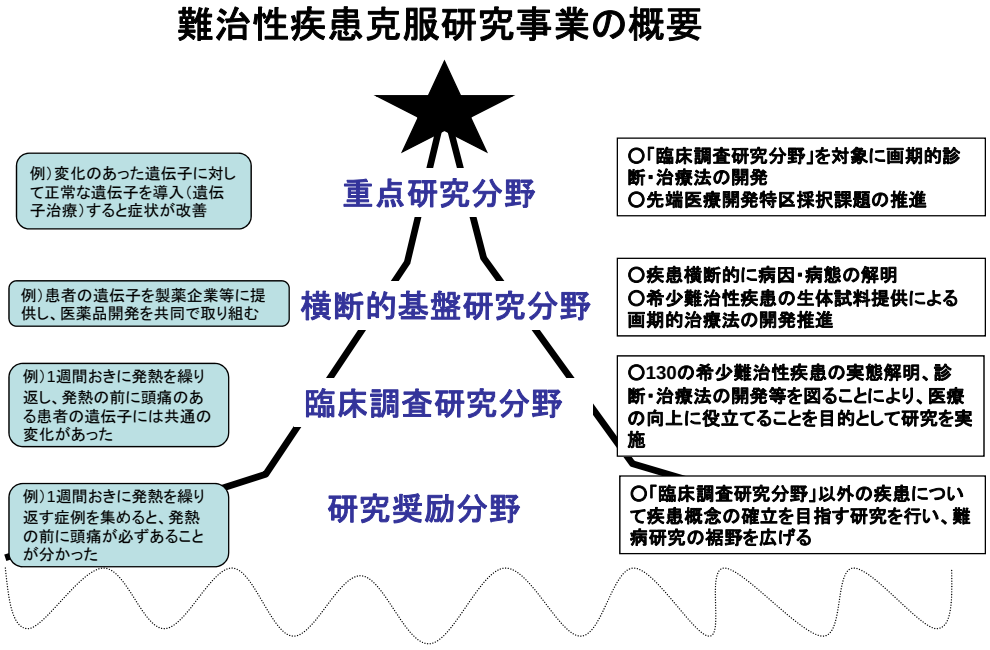
4. 参考（概要図）


生活習慣病・難治性疾患克服総合研究経費の概要
慢性疾患の克服
本研究により期待される成果
〇効果的な疾病予防及び治療成績の向上による死亡率の減少及び健康寿命の延伸
〇疫学的手法を駆使した臨床データの分析及びさらなる今後の研究発展への礎となる知見の創出
〇各研究事業の成果の応用及び連携推進により戦略的、効率的な研究をさらに推進
循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業
循環器疾患等の生活習慣病の予防、診断、治療を効果的に推進
腎疾患対策研究事業
慢性腎臓病の病態解明、予防、早期発見、診断、治療法等について体系的な研究の推進
具体的な研究成果の一例
〇予防法の確立
・ 生活習慣病、慢性腎臓病予防のための栄養、運動指針の策定
・ 健診、保健指導体制の構築
〇診断･治療法の開発
・ 再生医療等の先進技術を臨床に応用した難病の治療法開発
・ ワクチン等によるアレルギー疾患の根治療法開発
〇標準的な治療法の普及
・ 糖尿病、喘息、アトピー性皮膚炎等、各疾患の診療ガイドラインやAEDの使用方法を含む救急ガイドラインの策定
・ 難病に関する治療指針の改訂
〇QOLの向上
・ 在宅医療への先端技術の導入、医療体制の整備による自立促進
・ CKDの重症化予防による透析導入患者の減少
〇臨床研究の推進
・ 大規模臨床研究により、日本人における生活習慣病に関するエビデンスの確立
難治性疾患克服研究事業
希少難治性疾患は、原因不明、治療法未確立、予後不良で長期にわたり支障を来す疾患であり、患者数が少ないことから国として研究を推進
免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業
免疫アレルギー疾患等の原因究明及び根治的治療法開発を総合的に推進


難治性疾患克服研究事業の概要
重点研究分野
横断的基盤研究分野
臨床調査研究分野
研究奨励分野
例）変化のあった遺伝子に対して正常な遺伝子を導入（遺伝子治療）すると症状が改善
例）患者の遺伝子を製薬企業等に提供し、医薬品開発を共同で取り組む
例）1週間おきに発熱を繰り返し、発熱の前に頭痛のある患者の遺伝子には共通の変化があった
例）1週間おきに発熱を繰り返す症例を集めると、発熱の前に頭痛が必ずあることが分かった
〇「臨床調査研究分野」を対象に画期的診断・治療法の開発
〇先端医療開発特区採択課題の推進
〇疾患横断的に病因・病態の解明
〇希少難治性疾患の生体試料提供による画期的治療法の開発推進
〇130の希少難治性疾患の実態解明、診断・治療法の開発等を図ることにより、医療の向上に役立てることを目的として研究を実施
〇「臨床調査研究分野」以外の疾患について疾患概念の確立を目指す研究を行い、難病研究の裾野を広げる